

光赤天連シンポジウム 報告

2018/09/21

和田武彦(ISAS/JAXA)

2018年度光赤天連シンポジウム

2030年代の光学赤外線天文学を考える 2018年秋

- <http://gopira.jp/sym2018/>
 - 2018年9月10日(月) 13:00 - 9月12日(水)
 - 国立天文台・三鷹キャンパス すばる棟大セミナー室
 - 参加者 約100名
 - スライド、議論質疑応答をWEB掲示
- マスタープラン2020への推薦
 - 推薦委員会 コメントと評価SABC[] 評価をもって順位付け
- 2030年代の天文学
 - 2030WG主導の議論
- 他波長・隣接分野の状況
 - 太陽系小天体探査:45億年前 \leftrightarrow 光赤外線天文学:誕生前の様子
 - 高宇連会長より、波長横断・対象/現象主導天文学プロモーションのための協力の申し出あり。
- アンケート
 - 光赤天連会員への開示方法:

マスタープラン2020 推薦委員会(案)

2018/09/12

光赤天連運営委員会

推薦方法

- 推薦は運営委員会に設置した推薦委員会で行う。
- 推薦委員会は、運営委員(8名)に加え、運営委員会で選んだシニアアドバイザー(2名)と若手(2名)で構成する。
- 評価は、GOPIRA将来計画報告書、LOI、光赤天連・学会議シンポジウムプレゼンに基づき行う。
- 学術的評価、緊急性、各分野での連携、実現性の4点について、SABC[空欄]の5段階評価とコメントを作成する。
- この5段階評価をもって順位付けに代える(同点あり)。
- 評価は区分I/II、大型/中小に分けて行う
- コメントドラフトに対する各プロジェクトからのフィードバック、コメント最終案に対する事実確認を経て提出。
- 学会議分科会へ提出後、推薦内容を光赤天連に公開

推薦委員会委員(案)

- 推薦委員会

- 運営委員(8名)

- 植村誠(広島大)、 柏川伸成(国立天文台)、
 - 住貴宏(大阪大学)、 長尾透(愛媛大)、
 - 野上大作(京都大学)、 深川美里(名古屋大学)
 - 諸隈智貴(東京大学)、 和田武彦(JAXA)

- シニアアドバイザー(2名)

- 市川隆(東北大)
 - 芝井広(大阪大)

- 若手(2名)

- 但木謙一(国立天文台)
 - 松岡良樹(愛媛大)

タイムライン

- 2018/09/21 総会： 推薦方法、推薦委員決定
- 2018/09/21 推薦委員会：委員長、各LOIに対する主査決定
- 2018/10/05 コメントドラフト、評価案作成×切
- 2018/10/08-12 推薦委員会 評価案、コメントドラフト決定
- 2018/10/15-26 各LOIへのインタビュー
- 2018/11/07-13 推薦委員会：評価、コメント案決定
- 2018/11/14 プロジェクトへのコメント案送付
- 2018/11/19 プロジェクトからの確認×切
- 2018/11/22-29 推薦委員会：評価コメント作製
- 2018/11/30 学術会議分科会に提出

第一回推薦委員会

総会終了後、同じ会場にて初回打ち合わせを行います。

アンケート結果

- 別スライド

アンケート公開方向

- 光赤天連・シンポジウム参加者限定
- 再配布禁止
- パスワード付 PDF

- Gopira WEBに掲載するか？
 - WEBにもPWを掛けるか？
- MLで配布するか？

光赤天連
2030年代の天文学へ向けた意識・
意向調査

2018年9月10-12日に行われる光赤天連シンポジウムでは、2020-2030年代を見据えて、日本の光赤外天文学の方向性や、将来計画を実現するための戦略に関する議論を行います。そのシンポジウムにおける議論を活発にするため、また、なるべく多くの皆さんの声を拾うため、シンポジウム前にアンケートを実施しました。主には、光赤外天文学の大型計画に関する調査となっています。

なお、アンケートには、計画を明示した質問が含まれます。このアンケートの目的は、あくまでも現時点でのコミュニティの意見を調べ、議論の参考にすることです。個々の計画を多数決で評価するものではなく、また、意見分布は変わり得るものです。この点を十分ご理解いただきますよう、お願いいたします。また、再配布は禁止とさせていただきます。一部を切り取って発表や資料に使用すること等もお控えください。

2018年9月12日
光学赤外線天文連絡会運営委員会

アンケートそのものに対する意見

- 良い意見がたくさん出ていて驚いた。次回は、シンポジウムの一週間前ぐらいに会員に公開し、考えて・勉強してきてもらってからシンポの議論に入ってはどうか。
- 答えにくい質問があった。様々な立場の人が答えやすい設問に。
- 選択式を増やすなどし、もう少し軽くしても良いと思う。
- Dutyが多過ぎてアンケートに答える余力も無い人が多いのでは。Dutyの少ない職にいるわずかな人達の意見で将来計画の方向性が決まるのは残念。
 - 回答率を増やす、回答の重要性をアンケート依頼文で具体的に示すなどの対応が考えられる。一方、運営委員会があるので、全体での意見交換(多数決)だけで舵取りが決まる仕組みにはなっていない。
- シンポジウム現地参加で直接貢献できるような範囲の方の意見だけを集めるなら、本アンケートの回収率はあまり気にしなくてよいのではないか。
 - 現地加できない、シンポで発言しにくい人の意見も集めるのが目的。
- アンケートの定期的な実施は重要だと思う。
- アンケートは有意義。
- 強い意見を光赤天連の場で言う勇気はないが、アンケートには書ける。
- アンケートを取ることでそれぞれが主体的に考える機会となったと思う。
- Webアンケート形式だと、時間の空いたときにできるので回答しやすい。
- 何回かリマインダーが来たのは良かった。